

水素ステーション機器を支えるゴム・エラストマー材料

主催：日本ゴム協会研究部会 水素機器用エラストマー材料研究分科会
 協賛：日本化学会，高分子学会，自動車技術会，石油学会，繊維学会，日本機械学会，日本接着学会，
 日本合成樹脂技術協会，日本材料学会，日本トライボロジー学会，日本レオロジー学会，日本複合材料学会，
 プラスチック成形加工学会，マテリアルライフ学会（予定・順不同）

2014年，燃料電池自動車の市場投入から3年弱経過し，すでに90か所を越える商用水素ステーションが開設されている。今後のさらなる普及拡大に向け，水素エネルギーシステムを支えるゴム・エラストマー材料の高信頼性が求められている。本シンポジウムではNEDO事業「水素利用技術研究開発事業」により，2013年から推進してきた「水素ステーションの高圧水素用ホースとシールシステムに関する研究開発」の成果を中心に，高圧水素ホース，水素ステーション用機器の内層材料，シール材料として使用されるゴム・エラストマー材料の開発動向を紹介する。

日時：2017年7月21日（金）10時00分～16時55分

場所：工学院大学 新宿校舎20階 第6会議室
 東京都新宿区西新宿1-24-2 TEL 03 (3342) 1211(代)
<http://www.kogakuin.ac.jp/facilities/campus/shinjuku/access.html>

受講料：日本ゴム協会会員 協賛団体会員23,760円 日本ゴム協会学生会員 5,400円
 ※受講者が日本ゴム協会の正会員でない場合でも，ご所属の会社が法人としてゴム協会（賛助会員）の場合は2名様まで会員扱いの受講料で受付けます。

シニア制度対象会員 11,880円（60歳以上の正会員）会員外 32,400円

申込方法：弊会ホームページ<http://www.srij.or.jp/>よりお申込みください。（定員80名）

送金方法：銀行振込（三井住友銀行 日比谷支店 普通No.7100847 一般社団法人日本ゴム協会）。振込み手数料は受講者側でご負担ください。一度ご入金された受講料は返金いたしかねますのであらかじめご了承ください。

問合せ先：一般社団法人 日本ゴム協会 第236回ゴム技術シンポジウム係
 (〒107-0051 東京都港区元赤坂1-5-26 東部ビル1階
 TEL 03 (3401) 2957 FAX 03 (3401) 4143 E-mail : okada@srij.or.jp)

演 題（一部仮題目）	講 師・座 長
10:00～10:05 開会のあいさつ	水素機器用エラストマー材料研究分科会副主査 古賀 敦 【座長】九州大学 藤原 広匡
10:05～10:55 高圧水素機器用エラストマー材料の水素特性評価の進捗 九州大学大学院機械工学部門・水素材料先端科学研究センター	教授 西村 伸氏
10:55～11:45 高圧水素用ホース評価基準案の作成および国際標準化の動向 (一社)水素供給利用技術協会	江口 裕之氏 山梨 文徳氏 【座長】NOK(株) 古賀 敦
13:10～14:00 高圧水素ガスバリア材の開発 ビニルアルコール系樹脂をバリア材として用いた水素充填用樹脂ホース用材料の開発について発表する。	日本合成化学工業(株) 青山 真人氏
14:00～14:50 高圧水素充填用ホースの開発 当社がNEDO委託事業にて取組む高圧水素用ホース開発に関し，これまでの水素用ホース開発の経緯とそれらの実用における耐久性課題，現在進行中の87.5MPa対応ホースの開発・評価について紹介する。	横浜ゴム(株) 山口 尚志氏
15:10～16:00 ゴム材料の水素特性と配合の関連検討	【座長】九州大学大学院 西村 伸 (一財)化学物質評価研究機構 近藤 寛朗氏
16:00～16:50 高圧水素用Oリングの開発状況 高圧水素用に使われるゴムOリングのシールメカニズムおよび低高温環境，高圧環境での密封性と長期使用における技術課題を紹介する。	NOK(株) 鈴木 清宏氏
16:50～16:55 閉会のあいさつ	水素機器用エラストマー材料研究分科会主査 西村 伸

※プログラムは一部変更になる場合がございます。

☆お申込みはホームページ<http://www.srij.or.jp/>からお願いします。